

# 「ビジネスサーバ」シリーズ設定マニュアル ～ VPS・Pro .htaccess 編～

・本マニュアルの内容は、webサービス利用開始にあたっての設定用資料としてご利用いただくことを目的としております。

第1.0版

株式会社NTTぷらら

■ 変更履歴

日時	変更箇所等	備考
2010.01.27	第1.0版(初版)として発行	

■ .htaccess編

設定項目	頁数
.htaccessとは	P4
.htaccessの設置方法	P4
ディレクトリの一覧表示の中止	P5
IPアドレスを利用した閲覧制限	P6
ユーザ認証(BASIC)を利用したアクセス制限	P7
特定のサイトからのリンクを制限	P9
自動転送(URL転送)	P10
Indexの変更	P11
カスタマイズしたエラーメッセージを表示する	P12
shtmlの利用	P13

## 1. .htaccessについて

### 1.1. htaccessとは

.htaccessとはApacheなどwebサーバーの動作を、ディレクトリ単位で行う為の設定ファイルになります。  
.htaccess を作成し、設定を行いたいディレクトリに設置して下さい。

**VPS・Proではhttpd.confの編集が行えますが、技術的に詳しくないユーザー様に設定を行っていただく場合は.htaccessを利用し設定の変更を行って下さい。**

本書では、代表的な制御に関して記載を行っておりますが  
より詳細な情報を求める方は、下記のサイトを閲覧していただきますようお願いいたします。

Apache .htaccess

<http://httpd.apache.org/docs/2.0/howto/htaccess.html>

なお本書の内容に関しては、サポート外となっております。

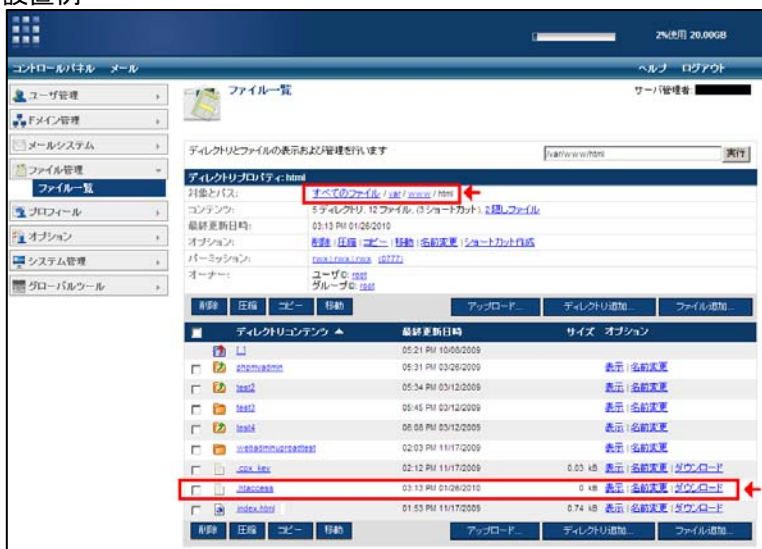
### 1.2. htaccessの設置方法

.htaccess は制御を行いたいディレクトリに設置して下さい。

.htaccessは標準で設置されていないファイルになりますので、お客様で作成していただく必要があります。  
(既にお客様で.htaccessをご利用の場合は事前にバックアップを取得していただくようお願いいたします。)

**ドキュメントルートに.htaccessを設置する事により  
コントロールパネルも制御対象に入りますので、設置には十分注意して行ってください。**

## 設置例



ファイル名を .htaccess として設置して下さい。  
※ファイル名の前には . (ドット) が入りますのでご注意ください

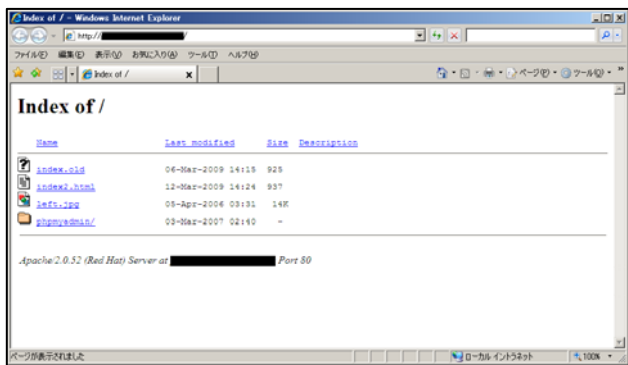
## アクセス権



一般的な.htaccessのアクセス権は(644)となっております。

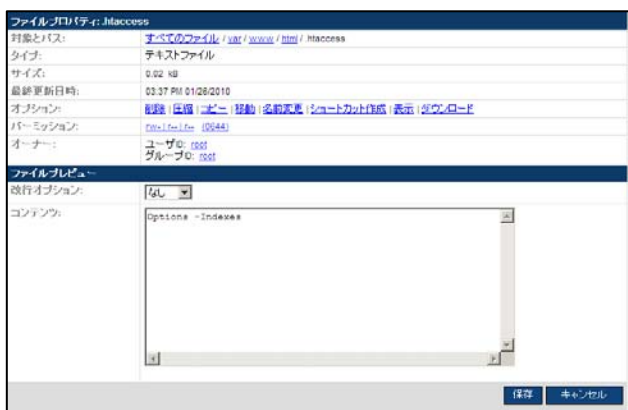
## 2. ディレクトリの一覧表示の中止

### 2.1 ディレクトリの一覧表示



VPS・Proではドキュメントルートにアクセスを行った場合index.html index.htm index.cgi index.php index.shtml index.jspの順でアクセスされ、上記ファイルが無い場合は、ディレクトリの一覧が表示されます。こちらの表示を無効にするには、下記の設定を行って下さい。

### 2.2 コントロールパネルからの編集

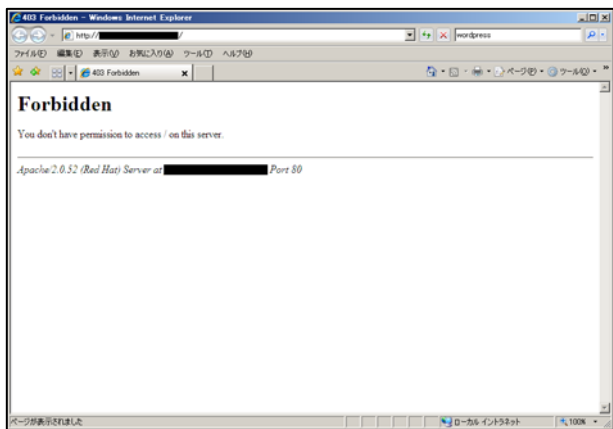


下記を.htaccessに記載して下さい。

```
Options -Indexes
```

左記はコントロールパネルより、.htaccessを新規に作成し編集する例になります。

### 2.3 表示の確認



.htaccessの設定後は必ず確認を行ってください。

こちらの設定を行う事により、ディレクトリの一覧表示は行われなくなりエラーメッセージ 403 Forbidden が表示されるようになります。

※確認を行う際は、ブラウザのキャッシュを廃棄するか、スーパーリロード(IEの場合はCtrlキー + 更新)で確認を行ってください。

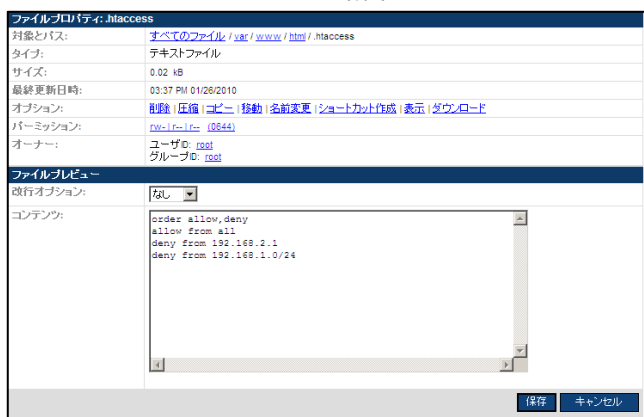
### 3. IPアドレスを利用した閲覧制限

#### 3.1 webの表示



VPS・Proでは 全てのインターネットユーザーがwebコンテンツを見られるようになっています。不正なアクセスを続けるユーザー、悪質なユーザーを制限するには下記の設定を行ってください。

#### 3.2 コントロールパネルからの編集



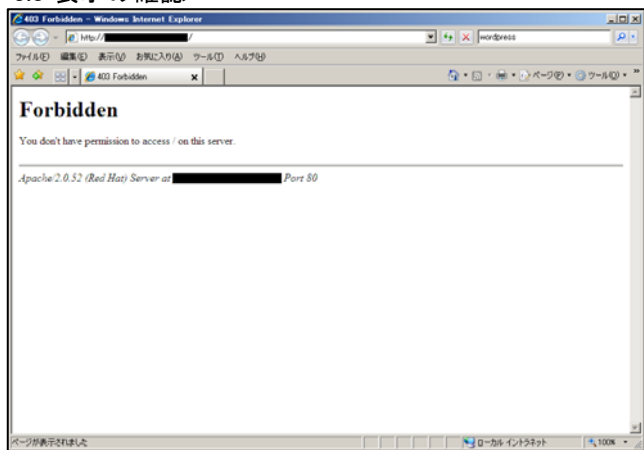
下記を.htaccessに記載して下さい。

```
order allow,deny
allow from all
deny from 192.168.2.1
deny from 192.168.1.0/24
```

※IPアドレス192.168.2.1を持つユーザーと192.168.1.0/24 (192.168.1.0～192.168.1.255)のIPアドレスを持つユーザーの閲覧を禁止する例になります。

左記はコントロールパネルより、.htaccessを新規に作成し編集する例になります。

#### 3.3 表示の確認



.htaccessの設定後は必ず確認を行ってください。

こちらの設定を行う事により、規制を行ったIPアドレスからのアクセスが規制されます。

※確認を行う際は、ブラウザのキャッシュを廃棄するか、スーパーリロード(IEの場合はCtrlキー + 更新)で確認を行ってください。

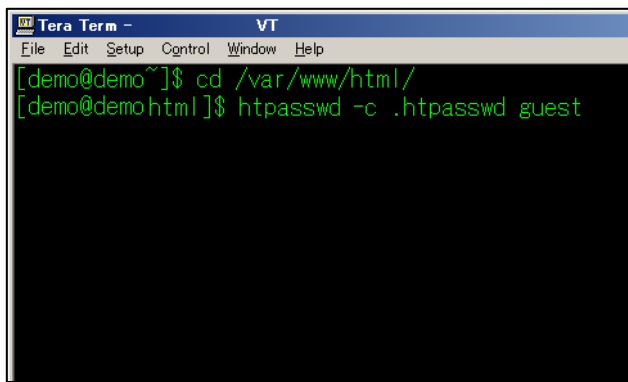
#### 4. ユーザー認証(BASIC)を利用したアクセス制限

##### 4.1 webの表示



VPS・Proでは 全てのインターネットユーザーがwebコンテンツを見られるようになっています。ユーザー認証で特定のユーザーのみにドキュメントルートを開示する場合は、下記の設定を行ってください。

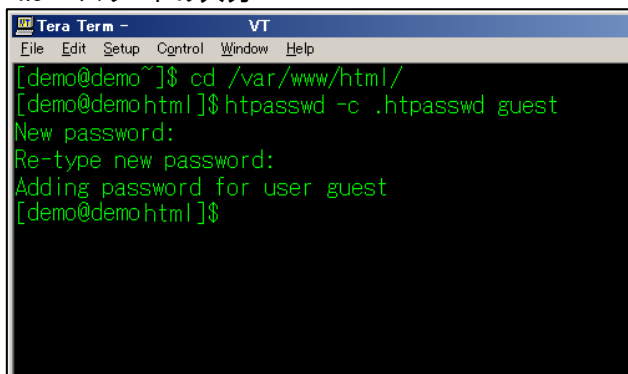
##### 4.2 パスワードファイルの作成



ホスティングIDでサーバーに接続しhtpasswdコマンドを入力して下さい。

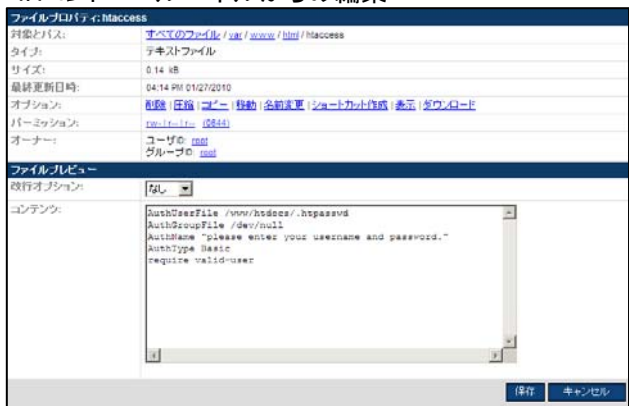
※ユーザー名 guestを作成する例になります。

##### 4.3 パスワードの入力



コマンドを入力後、作成するユーザーのパスワード入力画面になるので、任意のパスワードを入力して下さい。

#### 4.4コントロールパネルからの編集

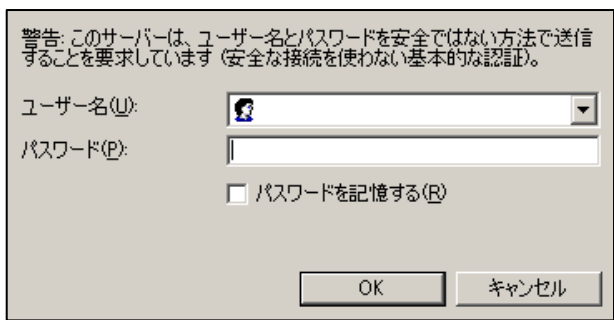


下記を.htaccessに記載して下さい。

```
AuthUserFile /www/htdocs/.htpasswd
AuthGroupFile /dev/null
AuthName "please enter your username and password."
AuthType Basic
require valid-user
```

※上記はドキュメントルートにパスワードファイルを置き、認証を行う例になります。

#### 4.5 表示の確認

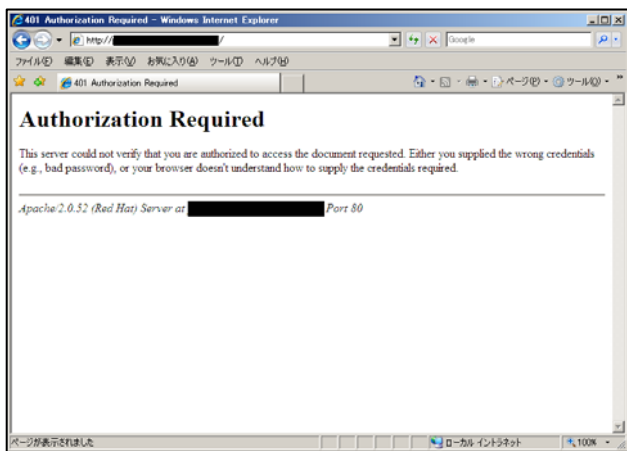


.htaccessの設定後は必ず確認を行ってください。

こちらの設定を行う事により、ユーザー認証の画面が表示されます。

※確認を行う際は、ブラウザのキャッシュを廃棄するか、スーパーリロード(IEの場合はCtrlキー + 更新)で確認を行ってください。

#### 4.6 表示の確認



また、ユーザー名やパスワードを複数回間違えた場合は401エラーが表示されます。



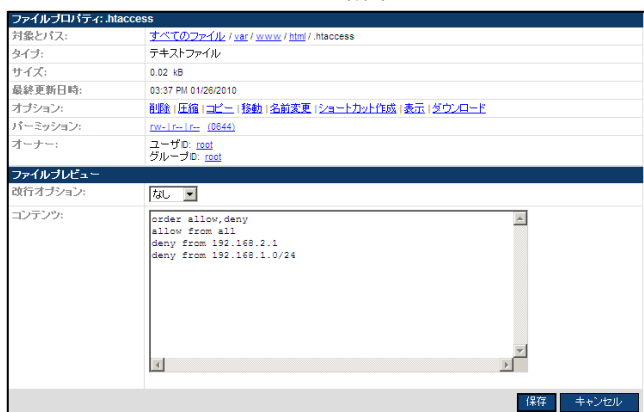
## 5.特定のサイトからのリンクを制限

### 5.1 webの表示



VPS・Proでは 全てのwebサーバからリンクが行える状態になっています。  
特定のサイトからのリンクを制限するには下記の設定を行ってください。

### 5.2 コントロールパネルからの編集



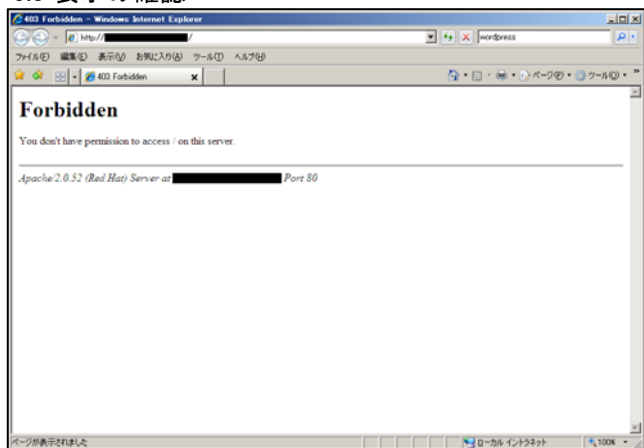
下記を.htaccessに記載して下さい。

```
SetEnvIf Referer "http://www.yahoo.co.jp/" ref1
SetEnvIf Referer "http://www.google.co.jp/" ref2
Order Allow,Deny
Allow from all
Deny from env=ref1
Deny from env=ref2
```

※www.yahoo.co.jp、www.google.co.jpからのリンクを禁止する例になります。

左記はコントロールパネルより、.htaccessを新規に作成し編集する例になります。

### 5.3 表示の確認



.htaccessの設定後は必ず確認を行ってください。

こちらの設定を行う事により、禁止したサイトからのリンクが規制されます。

※確認を行う際は、ブラウザのキャッシュを廃棄するか、スーパーリロード(IEの場合はCtrlキー + 更新)で確認を行ってください。

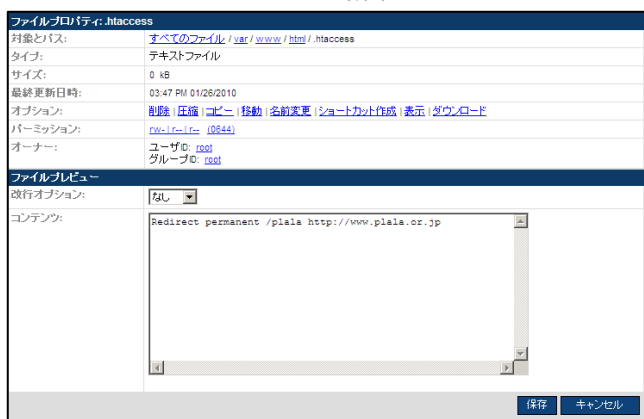
## 6. 自動転送(URL転送)

### 6.1 webの表示



サイトに訪れたユーザーを自動的に他のページへ誘導する場合は下記の設定をご利用下さい。

### 6.2 コントロールパネルからの編集



下記を.htaccessに記載して下さい。

```
Redirect permanent /plala http://www.plala.or.jp
```

※ブラウザでhttp://www.ご契約ドメイン名/plala にアクセスしてきたユーザーを www.plala.or.jp に転送する例になります。

左記はコントロールパネルより、.htaccessを新規に作成し編集する例になります。

### 6.3 表示の確認



.htaccessの設定後は必ず確認を行ってください。

こちらの設定を行う事により、自動的にURL転送が行われます。

また、URL転送の設定を行う場合は、.htaccessを公開ディレクトリのTOPに設置して下さい。

※確認を行う際は、ブラウザのキャッシュを廃棄するか、スーパーリロード(IEの場合はCtrlキー + 更新)で確認を行ってください。

## 7.Indexの変更

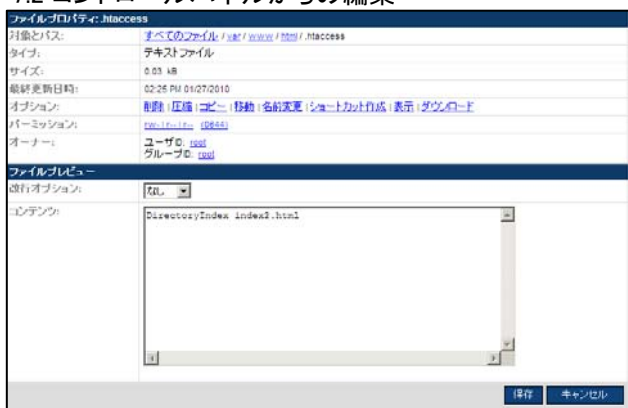
### 7.1 webの表示



VPS・Proではドキュメントルートにアクセスを行った場合index.html index.htm index.cgi index.php index.shtml index.jspの順でアクセスされます

こちらのファイルを変更したい場合は、下記の設定を行ってください。

### 7.2 コントロールパネルからの編集



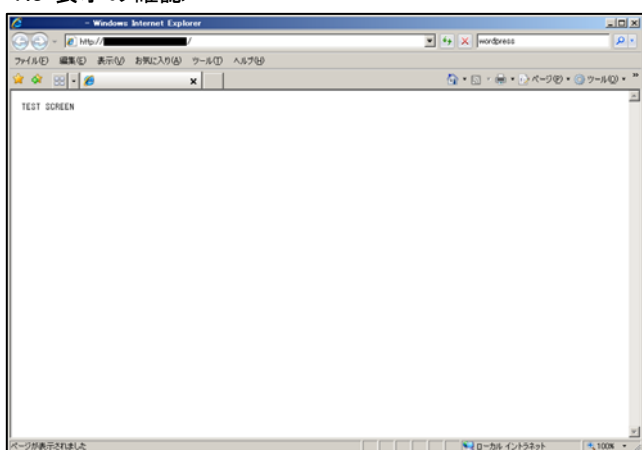
下記を.htaccessに記載して下さい。

```
DirectoryIndex index2.html
```

※ ドキュメントルートにアクセスを行った場合、index2.htmlを表示する例になります。

左記はコントロールパネルより、.htaccessを新規に作成し編集する例になります。

### 7.3 表示の確認



.htaccessの設定後は必ず確認を行ってください。

こちらの設定を行う事により、標準のファイルの変更が行えます。

※確認を行う際は、ブラウザのキャッシュを廃棄するか、スーパーリロード(IEの場合はCtrlキー + 更新)で確認を行ってください。

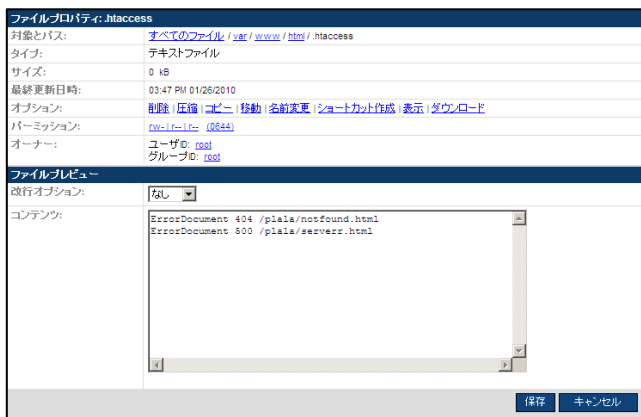
## 8. カスタマイズしたエラーメッセージを表示する

### 8.1 標準エラーメッセージ



VPS・Proでは各エラーについて標準のエラーメッセージをご用意していますが、お客様が作成されたエラーメッセージを表示させたい場合は、下記の設定を行って下さい

### 8.2 コントロールパネルからの編集



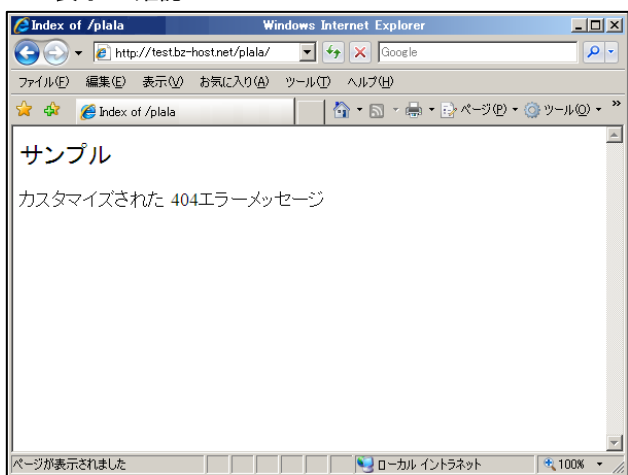
下記を.htaccessに記載して下さい。

```
ErrorDocument 404 /notfound.html
ErrorDocument 500 /serverr.html
```

※ドキュメントルートの404エラーのメッセージではnotfound.htmlを表示し500エラーの際はserverr.htmlを表示する例になります。

左記はコントロールパネルより、.htaccessを新規に作成し編集する例になります。ドキュメントルート直下にカスタムエラーファイルを設置する例になります。

### 8.3 表示の確認



.htaccessの設定後は必ず確認を行ってください。

こちらの設定を行う事により、お客様が作成されたエラーメッセージの表示が行えます。

※確認を行う際は、ブラウザのキャッシュを廃棄するか、スーパーリロード(IEの場合はCtrlキー + 更新)で確認を行ってください。

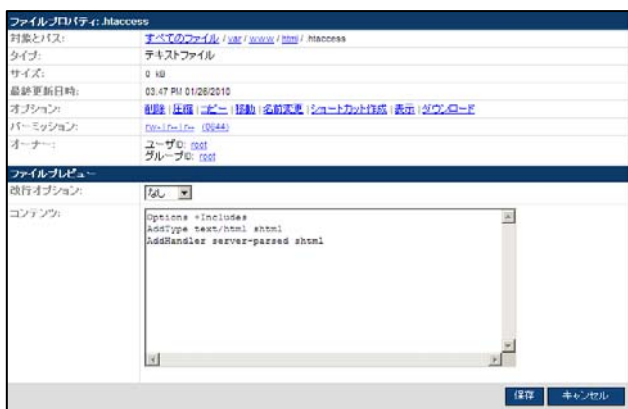
## 9.shtmlの利用

### 9.1 webの表示



VPS・Proでは標準でSSIをサポートしていますが、拡張子が.shtmlのファイルでSSIをご利用になる場合は下記の設定を行ってください。

### 9.2 コントロールパネルからの編集



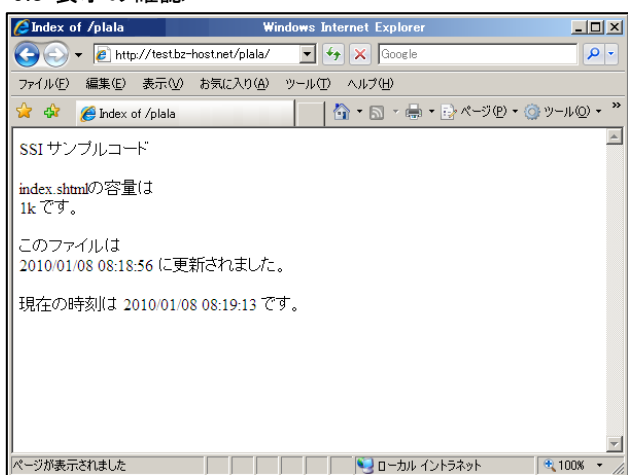
下記を.htaccessに記載して下さい。

```
Options +Includes
AddType text/html shtml
AddHandler server-parsed shtml
```

※ 拡張子が.shtmlの物に対してSSI機能を有効にする例になります。

左記はコントロールパネルより、.htaccessを新規に作成し編集する例になります。

### 9.3 表示の確認



.htaccessの設定後は必ず確認を行ってください。

こちらの設定を行う事により、拡張子が.shtmlのファイルでもSSIがご利用になれます。

※確認を行う際は、ブラウザのキャッシュを廃棄するか、スーパーリロード(IEの場合はCtrlキー+更新)で確認を行ってください。